

2019年度社会福祉学科の主な取り組み

1. 学科研修旅行

【日 時】

令和2年2月5日(水)～6日(木)

【テーマ】

「田辺市および和歌山市の障害者支援関係の施設・事業所での見学・研修&レクチャー」

【参加人数】

1年生9人、2年生7人、3年生6人、4年生2人、大学院生1人、教員8人

【プログラム】

〈2月5日〉

(名古屋⇒田辺) 6つのコースに分かれて、午後に田辺市内で見学・研修

第1コース：田辺市障害児・者相談センターゆめふる、南紀若者サポートステーション

第2コース：ルルコロ、町屋カフェ・ララロカレ

第3コース：たなかの杜、ありんこ、ほうかごきっず

第4コース：容器包装リサイクルセンター、なかよし作業所、はまゆう作業所

第5コース：ふたば第二作業所、ふたば作業所

第6コース：のぞみ園、ふたば神島ホーム、ゆうあいホーム、のぞみ園ホーム

※見学・研修後、田辺スポーツパーク（田辺市）で米川徳昭さん（社会福祉法人ふたば福祉会理事長）から「和歌山県の紀南地方における障害者福祉の歴史と作業所作り運動」というテーマで講演。「秋津野ガルテン」で宿泊。

〈2月6日〉

(田辺⇒和歌山⇒名古屋) 6つのグループに分かれて、午前中和歌山市内で見学・研修

グループ1：ソーシャルファームピネル

グループ2：はぐるま共同作業所

グループ3：はぐるま共同作業所・和の杜

グループ4：障害者就労・生活支援センター「つれもて」、アートサポートセンターRAKU

グループ5：和歌山生活支援センター

グループ6：事務支援センターソーラーナ

※見学・研修後、社会福祉法人一麦会「ハートフルハウス創」（紀の川市）で昼食。昼食後、野中康寛さん（社会福祉法人一麦会事務局次長）から「支援者、被支援者ではなく地域で暮らす生活者として―「共同」作業所としての麦の郷実践―」というテーマで講演。

2. ソーシャルワーク実習報告会及び懇談会

【日 時】

令和2年1月29日(水)

【参加者】

・3年生：ソーシャルワーク実習およびソーシャルワーク実習指導Ⅱ履修者33名

・2年生：ソーシャルワーク実習指導Ⅰ履修者40名

・1年生：10名

・配属先実習指導者12名

・実習指導教員7名

【内 容】

①報告会：実習指導グループ別グループ学習報告

7領域の実習指導グループ別に、配属先の概況説明および実習後のグループ学習による学びを、実習場面などを交えて報告。次年度実習予定の2年生への実習施設および実習内容の紹介と実習指導者への実習による学びのフィードバックを行った。また、今年度は10名の1年生の参加があった。

②懇談会：実習指導グループ別の分科会による実習生個人の学びの報告

実習指導グループ別に分科会を開催し、実習指導者との懇談を通じて、実習による学びを深めた。

3. 精神保健福祉士実習報告会

【日 時】

令和1年12月4日(水)

【参加者】

報告者（4年生11名）、精神保健福祉士に関心のある1～3年生27名（1年生5名、2年生17名、3年生10名）

【内 容】

実習場面を交えた報告と意見交換

①医療機関及び医療機関外における実習機関・施設での精神保健福祉士の業務内容の整理と比較、②医療機関における長期入院患者の退院阻害要因の分析と自己決定を尊重する退院支援の意義と方法、③地域で生活する精神障害者の生きづらさの理解と支援者との「対等性」の課題について、詳細な事例を交えながら報告した。その後、出席した32名の後輩との意見交換が行われた。